

第1学年 英語科学習指導案

日 時 平成23年11月1日(火)5校時

学 級 1年A組(男子8名 女子13名 計21名)

指導者 JTE 皆方 敦 ALT カイル・ロビンソン

1. 単元名 Unit7 カナダの学校 (New Horizon English Course 1)

2. 単元について

(1) 生徒の実態

男女ともに明るく元気な生徒が多く、授業態度も意欲的である。英語への興味・関心が高く、積極的に取り組んで力をつけている生徒がいるが、一方でこれまで学習した基本的な事柄の理解が十分でない生徒もおり、英語への苦手意識を持つ生徒もいる。指導方法を工夫し、生徒の英語学習への意欲を高めていきたい。

(2) 教材について

カナダの中学生ビルとのテレビ会議による対話から情報を得るのが中心となる単元である。「異文化理解」「情報教育」が意識された内容であり、Unit6のグリーン先生の姉のリサに続いて、生徒と同年齢の弟ビルがモニター画面上にリアルタイムで登場する。日本とカナダの天気や時刻についての対話の後、カナダの中学校に関する質問にビルが答える形で対話はつづき、最後にラクロスとドリームキャッチャーが紹介される。

扱われる文法事項としては、Part1ではWho is...?の文と応答、Part2ではWhat time ...?の文と応答、Part3,4では新出文型はないが、Part3ではHow many...?やHow long...?、Part4ではWhat...?の文など、いずれも疑問詞がふんだんに使用されており、カナダの中学校の様子を詳しくたずね、理解を深める内容になっている。

(3) 指導に当たって

生徒の実態をふまえ、授業においてはまず、「楽しんで活動する」ということを大切にしたい。中学校に入学して半年余りであるが、これまでさまざまな語句や表現を学習し、そのことによって自己表現の範囲も広がり、言いたいことを少しずつ英語で表現できるようになってきている。これからも関心を失わず英語学習に取り組んでいけるよう、授業では「できてうれしい」という気持ちをなるべく多く持たせたい。そのために、英語で相手に何かを説明・紹介したり、相手が伝えたいことを理解したりする言語活動を充実させ、コミュニケーションする力を高めていきたい。

3. 単元の目標

ア 疑問詞を用いて自分自身やカナダの学校生活についての問答に積極的に取り組むことができる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 疑問詞(Who,What timeなど)を用いた英文から相手が必要としている情報を収集し、相手にそれを正しく伝えたり答えたりすることができる。

【外国語表現の能力】

ウ 疑問詞を含む文の内容を正しく聞き取ったり、大切な部分を読み取ったりすることができる。

【外国語理解の能力】

エ 疑問詞(Who,What time)を用いた英文の構造、意味、用法を理解することができる。

【言語や文化についての知識・理解】

4. 単元の評価規準

| | | | | |
|------|--|--|--|---|
| | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
| 評価規準 | アー①疑問詞を用いて表現する活動に積極的に取り組んでいる。 アー②ペア活動に臆することなく取り組んでいる。 | イー①疑問詞の文の問答ができる。 イー②疑問詞を用いて英文を書くことができる。 | ウー①対話文の内容の要点を聞き取ることができる。 ウー②対話文の内容の要点を読み取ることができる。 | エー①疑問詞を含む文の語順を理解している。 エー②疑問詞を含む文の基本的な強勢やイントネーションを理解している。 |

5 単元の指導計画と評価計画（全6時間）

| Part | 時 | 学 習 活 動 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|------|---------|--|------------|--------------|
| 1 | 1 | ・テレビ会議での対話の内容を理解する。 | ウー① エー① | 観察 ワークシート |
| | 2 本時 | ・Who is...?の文を練習し、問答ができるようになる。 | アー① イー① | 観察 ワークシート |
| 2 | 3 | ・What time・・・?と時刻をたずねたり、答えたりする英文の形・意味・用法を理解することができる。 | ウー② エー② | 観察 ワークシート |
| | 4 | ・What time・・・?の文を練習し、問答ができるようになる。 | アー② イー② | 観察 ワークシート |
| 3 | 5 | ・カナダの中学生の学校生活について知る | ウー①② | 観察 ワークシート |
| 4 | 6 | ・カナダの中学生の学校生活とドリームキャッチャーについて知る。 | ウー①② | 観察 ワークシート |

6. 本時の指導（2/6）

(1) 目標 Who is・・・?の文を使ってたずねる質問とその答え方を練習し、身近な人などについて問答できる。

(2)展開

| 段階 | 学習活動 | 学習内容 言語活動 | J T E の支援 | A L T の支援 | 指導上の留意点 ◇評価 |
|--|--|---|-------------------------------|-------------------------------|---|
| 導入 10分 | 1 Warming up (A L T との Q & A) | ・ A L T の質問に 答えたり、A L T に 質問したりする | ・ 机間指導し、 下位の生徒へは 支援 | ・ 生徒にも英語 で質問させる | ・ 英語授業の雰 囲気をつくる |
| | 2 帯活動 (ペア活動) | ・ 既習の英単語の復 習をする | ・ 机間指導 | ・ 机間指導 | |
| | 3 Review (J T E と A L T の 対話を聞く) | ・ J T E と A L T の 対話を聞き前時の学 習内容を想起する | ・ A L T との Dialog | ・ J T E との Dialog | ・ 生徒に集中し て聞かせる |
| Who is …? の文を使ってだれであるかたずねたり、それに答えられるようになるろう。 | | | | | |
| 展開 35分 | 4 教科書対話 文の Reading (音読練習) | ・ Read & Look up な ど、いろいろな音読 の方法で練習し、す らすら読めるように する | ・ 机間指導し、 下位の生徒への 支援 | ・ Model 読み | ・ 大きな声で Reading させる。 |
| | 5 基本文の練習 (Who is ~? の文) | ・ Who is …? を使っ てのたずね方、応答 のしかたの練習をす る。 | ・ 机間指導し、 つまずいている 生徒への支援 | ・ 机間指導し、 つまずいている 生徒への支援 | ・ ワークシート を使用する |
| | 6 Interview (Who is ~? の文を使 い問答) | ・ Who is ~? を 使ってクラスメ ートと問答し合 う | ・ 机間指導 | ・ A L T も活動 に参加する | ・ pictures を使用 ・ 書かれた英文 は見ないで問答 させる |
| 終 末 5 分 | 7 本時のまとめ と次時の予告 | ・ 次時の学習内容を 把握し、見通しを持 つ。 | ・ 本時の確認 | | ◇ 全員が Who is...? の文を使い 問答できるよう になったか |